

あなたの企業の一員に

京をつなぐ

・ ・ ・ 保証季報 ・ ・ ・

—平成27年度—
第Ⅲ四半期

P01-02 四半期事業概況

P03-04 月別事業概況

P05-06 京のイチオシ企業…株式会社てが

P07-08 金融機関紹介…京都中央信用金庫 伏見支店

P09-10 海の京都……宮津市

P11-12 お知らせ

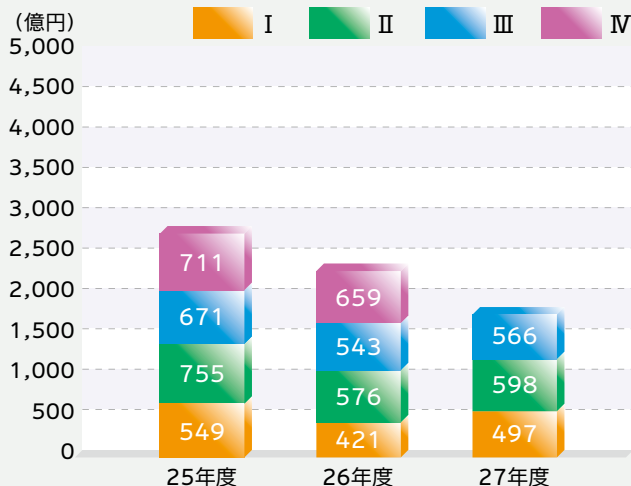


平成27年度 事業概況

保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	2,812	49,744	110.0	118.1
II	3,165	59,807	95.9	103.8
III	3,085	56,610	101.8	104.2
IV				
年度累計	9,062	166,162	102.0	107.8

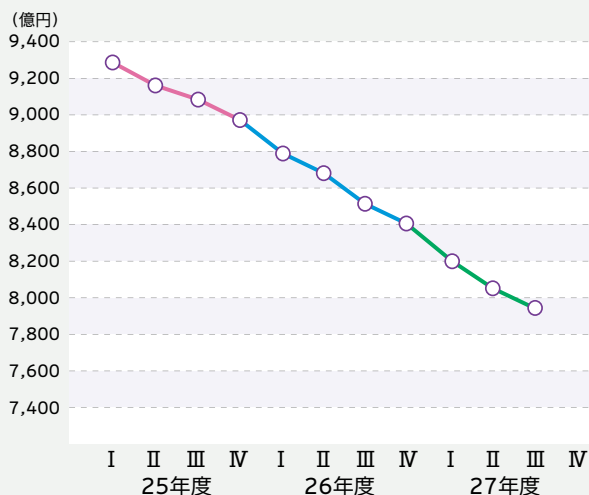


平成27年度第Ⅲ四半期の保証承諾は3,085件、566億10百万円となりました。
前年度と比べ件数で101.8%、金額で104.2%となり、件数、金額ともに前年度を上回りました。

債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	54,894	820,388	97.2	93.2
II	54,354	806,911	96.2	93.0
III	54,014	795,423	96.1	93.2
IV				

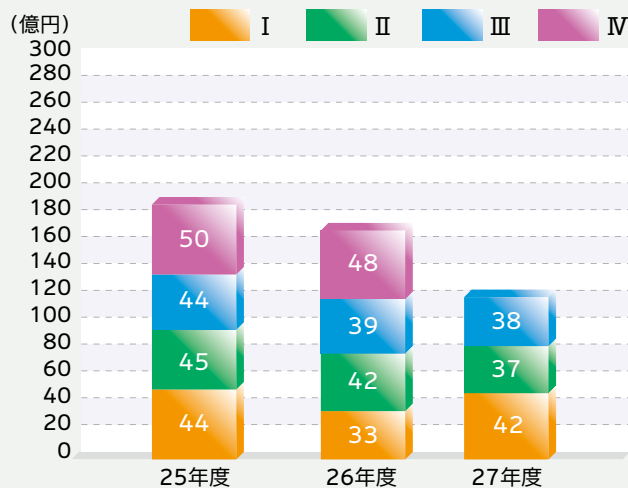


平成27年度第Ⅲ四半期の保証債務残高は54,014件、7,954億23百万円となりました。
前年度と比べ件数で96.1%、金額で93.2%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	219	4,214	115.9	129.2
II	216	3,692	95.6	87.9
III	230	3,793	93.9	96.6
IV				
年度累計	665	11,699	100.8	102.7



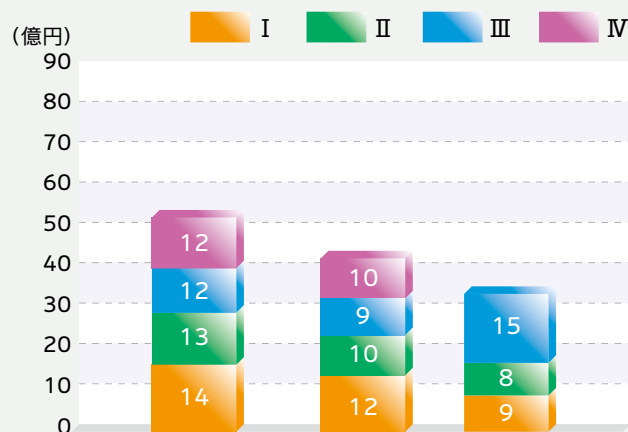
平成27年度第Ⅲ四半期の代位弁済は230件、37億93百万円となりました。
前年度と比べ件数で93.9%、金額で96.6%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	73	901	93.6	73.7
II	62	754	105.1	76.6
III	85	1,452	106.3	161.8
IV				
年度累計	220	3,107	101.4	100.1

※損害金回収を含む。件数は完済分。



平成27年度第Ⅲ四半期の求償権回収は85件、14億52百万円となりました。
前年度と比べ件数で106.3%、金額で161.8%となり、件数、金額ともに前年度を上回りました。

平成27年度 事業概況

保証承諾

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	874	15,180	110.8	120.0
5	817	13,953	98.2	102.2
6	1,121	20,611	119.8	130.1
7	1,010	18,907	94.3	108.0
8	936	17,742	95.5	111.7
9	1,219	23,159	97.7	95.5
小 計	5,977	109,552	102.1	109.8
10	799	13,535	93.1	95.5
11	941	17,516	108.4	115.6
12	1,345	25,560	103.1	102.3
1				
2				
3				
小 計	3,085	56,610		
累 計	9,062	166,162	102.0	107.8
事業計画	—	210,000	—	—
全国累計	524,122	6,674,949	98.0	101.6

*全国は速報値

保証債務残高

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	55,436	834,706	97.7	93.4
5	55,164	825,754	97.4	93.3
6	54,894	820,388	97.2	93.2
7	54,661	815,868	96.9	93.2
8	54,490	810,038	96.5	93.1
9	54,354	806,911	96.2	93.0
上期平残	54,833	818,944	97.0	93.2
10	54,212	802,298	96.2	93.1
11	54,006	796,219	96.1	93.1
12	54,014	795,423	96.1	93.2
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	785,000	—	—
全国累計	2,845,468	26,231,710	95.6	93.2

*全国は速報値

代位弁済

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	50	866	102.0	83.8
5	95	2,092	150.8	187.0
6	74	1,256	96.1	113.1
7	53	698	82.8	65.1
8	72	1,606	85.7	106.8
9	91	1,389	116.7	85.4
小 計	435	7,906	104.8	105.9
10	89	1,232	118.7	106.7
11	77	1,513	88.5	106.0
12	64	1,048	77.1	77.8
1				
2				
3				
小 計	230	3,793		
累 計	665	11,699	100.8	102.7
事業計画	—	22,000	—	—
全国累計	33,050	332,183	87.1	82.4

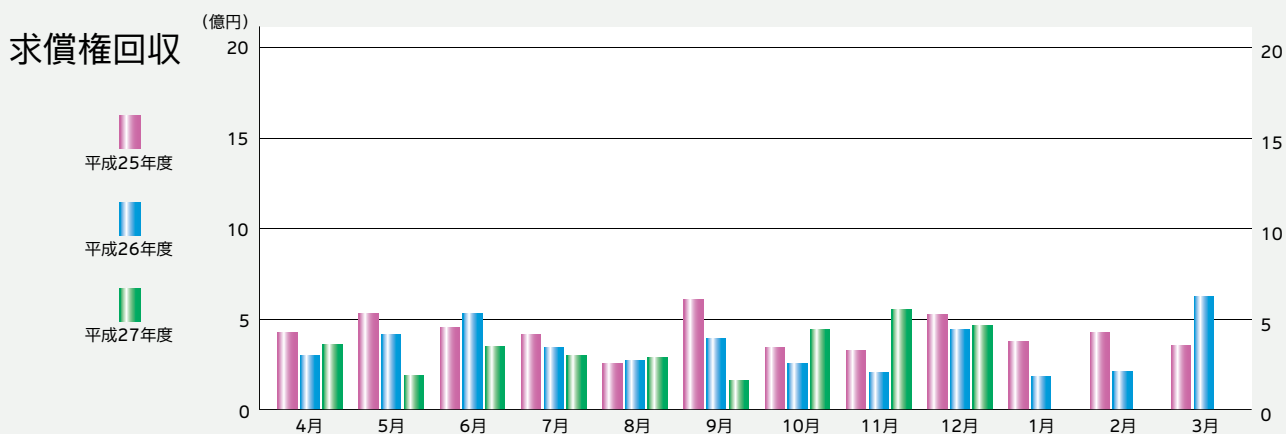
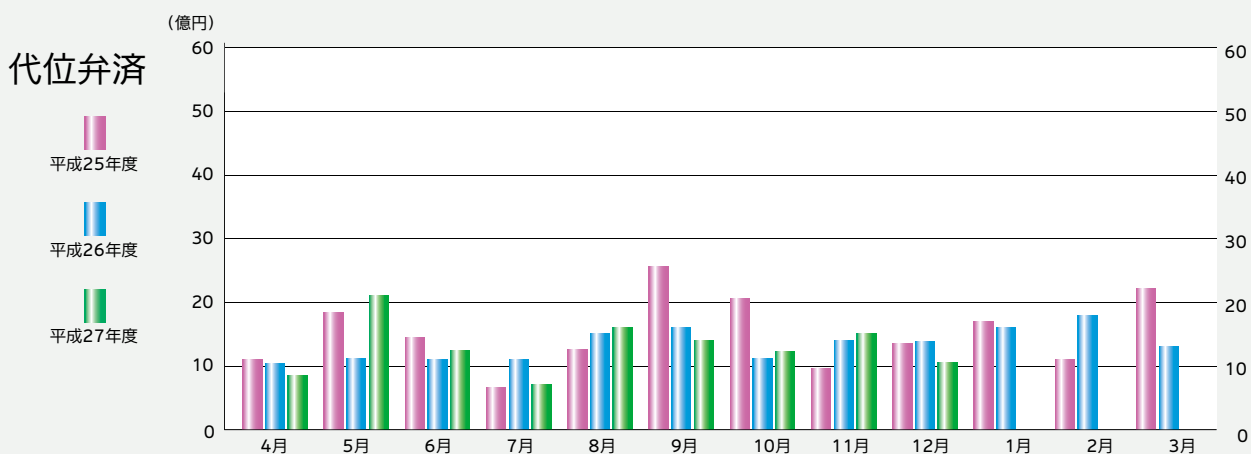
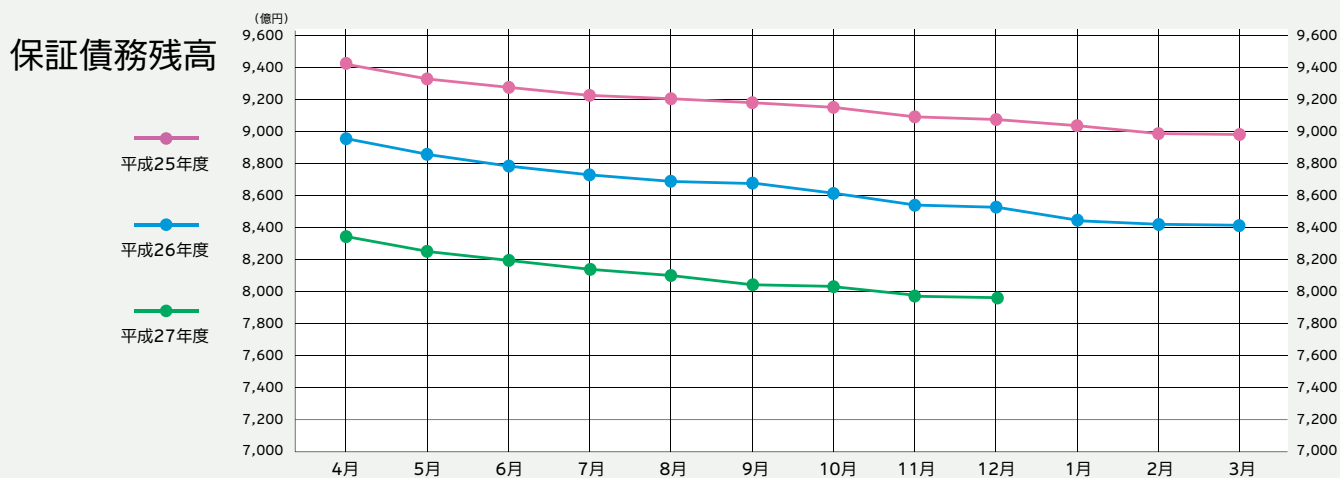
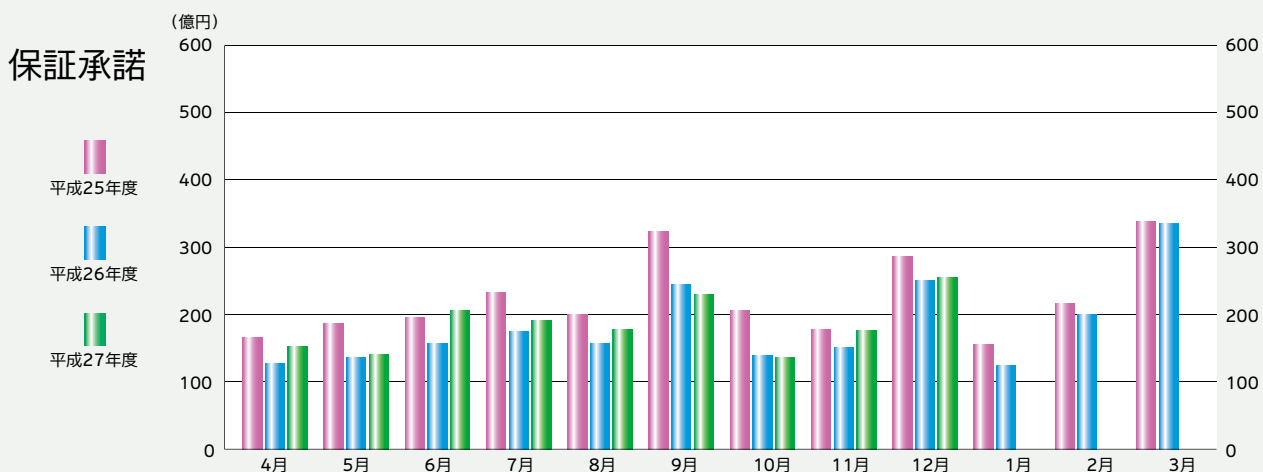
*全国は速報値

求償権回収

(単位：百万円、%)

月 別	件 数	金 額	前 年 度 比	
			件 数	金 額
4	33	362	173.7	121.7
5	15	192	50.0	48.0
6	25	346	86.2	66.2
7	17	305	70.8	92.4
8	30	290	150.0	106.4
9	15	159	100.0	41.6
小 計	135	1,655	98.5	75.0
10	18	429	69.2	168.7
11	23	558	176.9	274.1
12	44	465	107.3	105.9
1				
2				
3				
小 計	85	1,452		
累 計	220	3,107	101.4	100.1
事業計画	—	3,800	—	—
全国累計	—	102,176	—	89.8

*損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。



京の Best Recommended イチオシ企業



◆◆◆ 株式会社てが ◆◆◆

「株式会社てが」は、京都市上京区で漬物製造・販売を行っています。同社は当協会の専門家派遣事業である「京都バリューアップサポート」をいち早く利用するなど、経営に対する意識の高い企業です。今年で創業から70周年を迎える同社手賀清一社長にお話を伺いました。



“人と人”とのつながりが大事

まずはじめに、開業の経緯を伺いました。「昭和20年に旧国鉄職員だった父が、親戚の漬物店を引き継いで事業がスタートしました。小さい頃から父のそばで漬物作りを見ており、よく手伝いもしていましたが、私自身に跡を継ぐ気は全くありませんでした。」しかし社長が大学生活を送っていたとき、思いがけないタイミングで跡を継ぐことに。「父が交通事故に遭ってしまい入院することになりました。歩けるようになるまで2、3年はかかると言われ、やむなく大学を辞めて事業を継がざるを得ませんでした。やるしかない、という気持ちで臨みましたが、初めは右も左も分からない状態でした。」と当時の様子を振り返ります。しかしその後「父の商売を手伝っているうちに、自分の店を持ちたいという気持ちになり、私が36歳のときに独立することになりました。はじめは、北野公設市場の小さな店舗からのスタートでしたが、商品を買っていただくためには何をすべきなのかを必死に勉強した甲斐もあり、年々事業を拡大することができました。」

社長のお話を聞いていると、“人と人”という言葉が度々出てきます。社長がこの言葉を使うきっかけについて詳しく聞いてみました。「私が跡を継いだときは周りの方々から色々教えていただき、その後も取引先をはじめとした様々

な方々とのつながりができたおかげで、事業を続けることができました。結局は“人と人”のつながりが一番大事です。」このように語る社長は、精力的に取引先や様々な会合にも顔を出され、つながりを深めるとともに営業活動に邁進されています。

安全・安心が一番

社長に同社の社是について伺いました。「安全、安心、美味しく、スピーディー、清潔」を掲げて社員一同取り組んでいます。どれも大事なことですが、食品を扱う当社にとって一番大事にすべきは安全・安心だと考えています。」その一環として同社は行政の食品衛生認証制度である「きょうと信頼食品登録制度」(京都府)「ひとつぼしクラス」への登録や「京(みやこ)・食の安全衛生管理認証制度」(京都市)の認証を受けています。

京都府下に180社ほど漬物店がある中で、これらの制度に登録、認証されているのは10社程度とのことです。「行政の認証取得により、食を扱う企業として、よりお客様に安心していただけていると思っています。ただし食品を扱う上で完璧ということはありませんので、ご指導いただいたことは真摯に受け止め、常に改善を図っていくことが安全・安心につながると考えています。現在はひとつぼしクラスですが、今

後はふたつぼしクラスを目指したいと考えています。」このように商品の安全・安心について語る社長の表情は真剣そのものでした。

新たな食文化を提案したい

現在同社は50～60種類ほどの商品を取り扱っていますが、同社のイチオシについて伺いました。「根強い人気があるのが、“千姫(せんひめ)”です。この商品のはかなで一枚一枚丁寧に削った大根を千枚漬と同じように利尻の昆布としそであっさりと漬けこんだものです。過去には“京滋奈食文化フォーラム特別事業新商品コンクール会頭賞”を受賞した実績もある、当社の看板商品です。」人気商品の他にも、水なすの冷凍漬物“氷雪(ひょうせつ)”という新商品を近々販売予定です。同社独自の漬け方で、冷凍しても美味しく食べられる秘密があり、今後女性誌の取材予定もあるようです。



また同社は昨今の食文化の変化を新たな販売機会と捉えています。「漬物の消費量は、10年前の半分に落ち込み、業界内での競争が非常に厳しくなっています。全国にたくさん漬物店がありますが、同じことをしていても意味がありません。当社が生き残るためには、大手とは違った引き出しを持ちたいと考えています。昔からよく“一汁三菜”と言われてきましたが、今では朝の忙しさからパンを食べることも珍しくありません。時代のニーズに合った新商品開発や既存商品を使ったレシピの開発により、食文化を根本から変えるような提案を当社からしていきたい。」と強い意気込みが感じられます。従来の漬物のイメージに捉われない同社から、新たな食文化が生まれる日は遠くないかもしれません。



保証協会へメッセージ

当社にとっては有益でしたが、保証協会が専門家派遣事業をしていることはあまり知られていません。この取り組みを通して当社は、保証協会や専門家の方々と“人と人”の付き合いができたと思います。今後にあたっては、専門家にも社長にも個性があるので、互いの個性に沿ったマッチングをしてもらえればと思います。

漬物香房 株式会社 てが

社長/手賀 清一

所在地/京都府京都市上京区大宮通寺之内上る
3丁目筋違橋町 542

従業員数/10名

事業内容/京漬物製造・販売

創業/昭和20年

設立/平成8年1月25日

資本金/1,000万円

URL/<http://www.tega.co.jp/>



社長 手賀 清一様

京都中央信用金庫

伏見支店

京都市伏見区大宮町 572 番地の 2

・・・支店の沿革・・・

●昭和45年11月
京都中央信用金庫伏見支店として現在地に開設



支店管内の産業の特色及び 中小企業金融の取組みなどについて

当店の営業エリアは、老舗の酒蔵が多くあることで知られていますが、製造業をはじめ様々な業種の事業所があります。

当店では今後の事業計画や経営者の思いを十分に理解したうえで、常に一步先の展開を考えた質の高い金融サービスを提供できるように心掛け、職員同士が連携をとって営業活動を行っています。

保証利用推進の方策について

お客様の業況に応じて制度融資等の有効利用を推進しています。お客様の資金需要を日々の営業活動によるモニタリングにて把握できるよう心掛けており、必要なタイミングで資金確保できるように制度融資等の特徴を把握して提案型のセールスを行っています。



支店の スローガン

「支店全体で一体感のある営業活動」

当店では係の枠を超えた3班体制での営業推進活動を行っています。
職員同士のコミュニケーションが円滑で同行訪問による現場教育を強化しており、支店全体で連携をとりあって一体感のある営業推進活動を行っています。



これまでで一番心に残る体験

黄檗支店での新築移転オープンに携われたことはとても心に残る体験となりました。

猛暑の中、職員全員で店舗周辺1軒1軒を訪問し記念定期預金等を推進した甲斐もあり、新店舗オープン時には、1,000名近くのお客様にご来店いただきました。私達はお客様に支えられ営業ができているのだという事を改めて実感することができました。

更に、新店舗オープン成功に加えて職員が一致団結でき、納得のできる総合成果をあげてみんなで喜びを分かち合うことができました。黄檗支店での経験は仕事を続けていくうえでの大きな励みになっています。

職員の方々へのアドバイス

良い結果が出た時は慢心することなく更に高みを目指し、辛い時には前向きな気持ちを忘れずに、日々向上心を持って取り組んでほしいです。

保証協会へメッセージ

企業の発展には、金融機関と保証協会の連携による支援体制が必要不可欠です。

決算内容だけでなく企業の実態を詳細に把握することが重要であり、企業の情報を共有し共に支援していくことが大切であると考えています。

今後も地域社会の発展を目指すパートナーとして共に力を合わせて頑張っていきたいと思います。

支店長のモットー

『仕事は厳しく・厳しく・楽しく・厳しく』

私達は金融のプロであり、仕事に対してはお互い厳しく切磋琢磨しながら取り組んでいます。日々のお互いの仕事には厳しく、目標が達成できた時にはみんなで喜びを分かち合えるような楽しい職場環境作りを心掛けています。



支店長
小泉 一成様



海の京都

海の京都特集の最終回は宮津市です。宮津市のシンボルといえば何といっても、日本三景の1つに数えられる「天橋立」です。天橋立は文珠から対岸の江尻まで幅20～170m、長さ約3.6kmの自然の砂州で約8,000本の松が生えている珍しい地形です。その神秘的な景観は、古来から訪れる人々を魅了し続けています。今回は、天橋立の他にもたくさんの自然と文化が息づく宮津市コンセプトツアーを天橋立観光協会様にご案内いただきました。

智恵の餅 ～四軒茶屋が代々伝える味～

智恩寺門前には、宮津で多くの人に愛されている「智恵の餅」を販売する茶屋が4軒並んで営業しています。今回は、その中の「吉野茶屋」と「勘七茶屋」にお話を伺いました。

「智恵の餅は、昔むかし一人のお婆さんが夢に現れた文殊菩薩様に教わって作りはじめたという言い伝えが残っています。軒を連ねる四軒茶屋の各店舗は、創業350年以上の歴史があり、店舗の場所などは昔から一切変わっていません。お互いに長年切磋琢磨しながら商売を続けており、今も手作りの味を守っています。」(吉野茶屋)

「伝統の味を守ることも大切ですが、地域貢献のため街づくりにも積極的に参加していきたいと考えています。今後は、街が一体となって住んで良し、訪れて良しといわれるような地域に発展させていきたいです。」(勘七茶屋)

お二人からは、智恵の餅の伝統や味へのこだわりと街づくりや地域活性化に対する熱い想いがうかがえました。

一昔前までは、男達が店前で威勢良く餅をつき、女性があ

んこをからめて、その場で客に出していたといいます。訪問当日はあいにくの雨模様でしたが、多くの観光客が、「智恵の餅」片手に周辺を散策している姿がみられました。

つきたての美味しい「智恵の餅」を食べられるのは、ここ四軒茶屋限りとなっています。食べれば「文殊の智恵」を授かるとのいわれもありますので、ぜひ一度ご賞味ください。



智恵の餅

もといせこの 元伊勢籠神社 ～宮津を代表するパワースポット～

次に、伊勢神宮に祀られる天照大神、豊受大神がこの地から伊勢に遷られたという言い伝えが残る元伊勢籠神社を訪れました。

平安時代の書物「延喜式」には山陰道(現在の北近畿から島根県までの日本海側地域)一の大社と記されており、非常に高い社格を誇る神明造りのお社は荘厳な雰囲気漂わせます。

権欄宜の梅本貴久様にご案内いただきました。コンセプトツアーでは、お祓いを受けたあと神社の歴史や由来の説明を受けたり、江戸時代に奉納された大きな太鼓を叩

くことができます。中でも一番の見所は、伊勢神宮と元伊勢籠神社にのみつけることが許された「五色の座玉」です。緑・黄・赤・白・黒の五色は陰陽五行を表しており、自然現象に関わる全ての因果関係を表しているそうです。当神社で「白石」を受け取り、奥宮の眞名井神社で「御神石」と交換して、白布に包んで持ち帰ることができます。神棚など清浄な場所に奉斎して、ことあるごとに水で心を清めるように洗うことで、日々の幸せが得られることでしょう。



元伊勢籠神社 (外観)



元伊勢籠神社 (内観)



五色の座玉

大太鼓

元伊勢籠神社 権欄宜
梅本 貴久様

なりあいじ

成相寺 ～瞑想体験でリフレッシュ～

行程の最後は、天橋立を望む成相山の中腹に建つ、西国三十三所巡礼第28番の礼所である成相寺を訪れました。

成相寺は慶雲元年(704)年に文武天皇の勅命寺として真しん応おう上人じょうにんが創建されました。元々は日本古来の山岳宗教の修験場であったといわれており、景勝地であるとともに周りを囲む雄大な自然が印象的です。

コンセプトツアーでは、「阿あ字じ観かん」といわれる瞑想法を副住職の石坪龍眞様よりご指導いただき特別に体験できます。「阿字観」とは座禅のように心静かに座るもので、大自

然を表す字(梵ぼん字というインドの古語)を心の中で念じて大自然と一体になることを感じる真言宗に伝わる修行法です。①調身(姿勢を正す)、②調息(呼吸を整える)、③調心(心を整える)、④出定(瞑想からもとの状態に戻る)という一連の流れが味わえます。

瞑想を通して自身と向き合い心身ともにリフレッシュできると人気を博しており、他府県からの参加者もいらっしゃるようです。



成相寺 阿字観 体験場所



成相寺 本堂



成相寺 副住職
石坪 龍眞様

海の京都観光地域づくりマネージャーから

海の京都観光地域づくりマネージャーである森美忠様から海の京都の取組みについてお話を伺いました。「私の役割は行政と民間の調整役、いわば“何でも屋”であり杓子定規では務まらない苦労がありました。コンセプトツアーの企画立案では、地域の特色を踏まえた素材の掘り起こしが必要で、何を観光客に味わってもらいたいかということ突き詰めました。当初、宮津では皆が納得する“コンセプト”を見つけるのは難しいように思われましたが、幸いなことに雪舟がこの地を描いた名画“天橋立図”のイメージを共有することができたので、“天につながる太古の聖地”を導き出すことができました。

宮津において、海の京都構想で求められた“コンセプトに基づく地域づくり”は、街づくりを再び考える良いきっかけになったと思います。確かに苦労もありましたが、観光客に喜んでもらえるツアー作りの調整は楽しかったです。」

“天につながる太古の聖地”を導き出すことができました



海の京都観光地域づくり
マネージャー
森 美忠様

天橋立観光協会からのメッセージ

日本三景「天橋立」の冬の楽しみといえば、日本海側の冬の定番「かに料理」と当地発祥の料理「ぶりしゃぶ」の二大グルメ。天橋立エリアの旅館では、二大グルメをゆっくり食べていただく豪華な日帰り昼食プランを実施中です。また、温泉入浴がセットになったおすすめプランもあり、ゆっくりお食事と温泉をお楽しみいただけます。

<http://www.amanohashidate.jp/kani-buri>



天橋立観光協会
多賀 雄介様

京都再生ネットワーク会議開催

平成27年12月10日(木)、京都府中小企業会館にて平成27年度第2回京都再生ネットワーク会議を開催しました。(通算25回目の開催)

会議の第一部では、当協会から平成27年度再生支援資金の保証取組み実績やモニタリング・フォローアップ実績の報告を行いました。次に、京都府中小企業再生支援協議会統括責任者の中西宏介様、中小企業再生支援全国本部副統括プロジェクトマネージャーの野田勝也様から再生支援協議会や全国本部の活動と最近の動きについて報告がありました。

第二部では、株式会社大和総研 経済環境調査部長 内野逸勢様、副部長主任研究員 市川拓也様を講師に招き、「地域金融機関が地方創生を考えるために必要なマクロ的視点～“地方経済の持続可能性”と“人口減少の中での労働生産性”」というテーマでご講演いただきました。内野様は金融・資本市場や金融機関経営、市川様は地域経済や地方財政が研究・専門分野で、多数の著書やレポートを執筆されています。

講演では、地方創生・創業のために地域金融機関に求められている役割や課題、変革が迫られる農業を参考にした地域経済の持続可能性等について大変分かりやすくご説明いただきました。

会議終了後、講師の内野様・市川様を囲んだ懇親会では、出席された方々との交流が図られ、京都の中小企業支援に向け、更なる連携を深めることができました。



＜中小企業再生支援資金の実績＞

1. 中小企業再生支援協議会の再生計画完了案件保証承諾実績

・・・51 企業

(平成15年以降の累計 290 企業)

※平成27年3月末現在

2. 京都府・京都市協調中小企業再生支援資金実績

・・・27 企業

(制度創設累計 763 企業)

※平成27年12月末現在



ものづくり現場研修を行いました

当協会では若手職員を中心とした人材教育の一環として、平成23年度から「ものづくり現場研修」を実施しています。今年度は、1775年(安永4年)の創業から培われた技術で京仏具の製造販売を手掛けられている株式会社小堀様を訪問しました。

当日は小堀社長から事業概要等を説明いただいた後、工房を巡り仏具の製造工程を見学しました。協会職員が普段目にする審査書面からは到底想像できない、職人の繊細かつ緻密な仕事振りを目にする事ができました。見学を終えた後に協会職員も金箔押しの体験を行いました。実際に体験してみることであらためて職人の高い技術に驚かされるとともに、技術を伝承させる大変さを実感しました。

同社では顧客満足を超えた「顧客感動化」という取組みを行っています。今回の見学では、全社を挙げての出迎えにはじまり、随所に丁寧かつ分かりやすい説明をいただき、最後には工房見学の様子を撮影した写真入り記念新聞のプレゼントもありました。参加した協会職員も同社の取組みに感動したことは言うまでもありません。

今回の研修を通して、ものづくりの現場を見ることの重要性とともに、当協会が中小企業の皆様に寄り添ったサービスを提供していく必要性を再認識しました。これからも製造現場に出る機会を設けることで職員のスキルアップを図り、適切な金融・経営支援に努めてまいります。



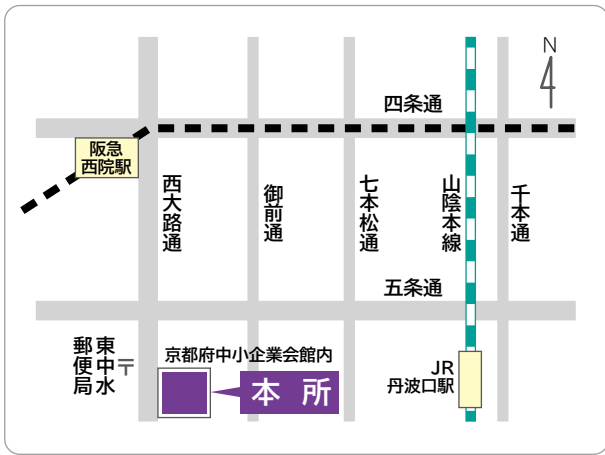
創業セミナーを開催しました

平成27年10月2日(金)らくたび京町家において、当協会主催としては初めての創業セミナーを開催しました。今回のセミナーは、創業者向けの経営ガイドブック“創業手帳”を提供するビズシード株式会社に協力をいただき、同社による「創業手帳セミナー」の後、当協会からは信用保証制度や専門家派遣事業「チャレンジ」創業バリューアップサポートなどをPRしました。

当日は21名の参加があり、セミナー終了後には参加者同士の交流会に加え、ゲスト参加の女性士業(弁護士・税理士等)を交えた相談会を行いました。



本所



〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館内

- 業務区域/京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡
- 業務部保証推進室の担当地域
保証推進第一課/北区、上京区、中京区、下京区、右京区、西京区
保証推進第二課/南区、伏見区、左京区、東山区、山科区、向日市、長岡京市、大山崎町

- 電話
保証業務課：(075)314-7221
保証推進第一課：(075)314-7226
保証推進第二課：(075)314-7227
経営相談課：(075)314-7221
経営支援課：(075)314-7222
期中支援課：(075)314-7222
管理第一課：(075)314-7225
管理第二課：(075)314-7225
管理業務課：(075)314-7225
コンプライアンス室：(075)314-7223
総務課：(075)314-7223
人事課：(075)314-7965
電算統計課：(075)314-7224
総括監査室：(075)314-7223
- FAX
(075)314-2034
(075)321-6117
(075)314-8111
(075)321-6117
(075)321-3043
(075)321-3043
(075)322-1038
(075)322-1038
(075)322-1038
(075)321-6331
(075)321-6331
(075)314-3545
(075)321-6331



宇治支所

〒611-0033

宇治市大久保町上の山36番地の7

- 業務区域/宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡

- 電話/保証関係：(0774)43-8822 管理関係：(0774)43-8823
- FAX/保証関係：(0774)43-8899 管理関係：(0774)43-8824



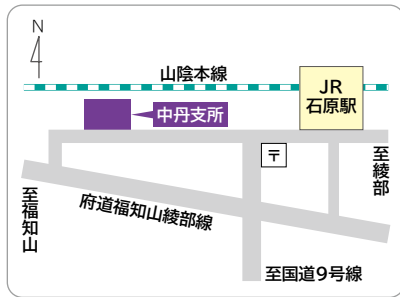
南丹支所

〒621-0052

亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

- 業務区域/亀岡市、南丹市、船井郡

- 電話/(0771)22-1041 ●FAX/(0771)22-6737



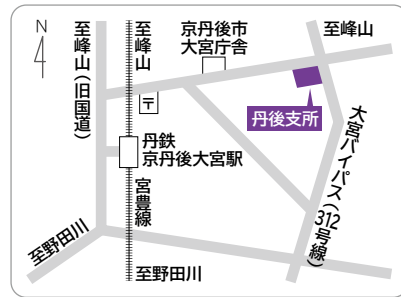
中丹支所

〒620-0804

福知山市石原2丁目24番地

- 業務区域/福知山市、綾部市、舞鶴市

- 電話/(0773)27-6156 ●FAX/(0773)27-6158



丹後支所

〒629-2503

京丹后市大宮町周積2226番地3

- 業務区域/宮津市、京丹后市、与謝郡

- 電話/(0772)68-0601 ●FAX/(0772)68-0613

あなたの企業の一員に

京都信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO
<http://www.kyosinpo.or.jp/>



- インキ：大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷



第Ⅲ四半期の表紙

清滝川の高雄橋

高雄(高尾)は、清滝川上流の桐尾・榎尾と合わせて三尾と呼ばれ、豊かな自然に恵まれた景勝地です。神護寺のたもとを流れる清滝川にかかるのが高雄橋で、ここから下流の清流まで続く「錦雲溪」には多くの観光客が訪れます。